

# 会議録(要旨)

会議名等	令和5年度当事者会 12月定例会	文責	障がい福祉室
日程	令和5年12月21日 午後1時30分～3時30分	場所	総合福祉会館 第三会議室

## 1. 情報共有

### ■吹田市社会福祉協議会から依頼 千里新田小学校における講演について

令和6年2月8日に千里新田小学校生徒に対し、「地域でともに暮らす様々な人を理解する」ことを目的とした講演を予定しており、吹田市社会福祉協議会から当事者会委員に講演依頼があった。2時限目、3時限目において低学年・高学年に分かれて受講する構成となっている。講演者の選定において、学校の設備上の問題で、千里新田小学校の体育館が2階部分にあり、階段の昇降が必須となる。エレベーター設備がないため、車椅子ユーザーの場合は昇降が課題となる。

#### 【意見】

- ・過去にも講演した経験のある方がいいのではないか。
- ・講演者が誰になっても、自身に関わる障がい以外の話もしてほしい。知的・身体・精神の全般にかかる話をしてほしい。
- ・体育館が2階だからという理由で車椅子ユーザーを対象外とするのはいかなものか。
- ・教師や職員で車椅子を抱えて2階部分に上がることは難しいのか。
- ・車椅子を人の手で持ち上げる場合の安全面が心配。
- ・個人所有の車椅子(大型、電動)ではなく、学校に常備されている車椅子に乗り換えれば人の手で昇降可能になるのでは。
- ・その人にとって「普通」である状態を見せることが大事なのではないか。学校に常備されている車椅子に乗るのではなく、その人の状態に「合わせる」ということが重要なのではないか。
- ・普通規格の車椅子では乗れない方もいる。
- ・車椅子で上がれないのであれば、子どもたちに来てもらえばいい。「上がれない」「行けない」といった、実際にバリアのある場面を見てもらうのはどうか。
- ・協力しあって車椅子を持ち上げる姿を小学生の目に入れることも「様々な人を理解する」ことになるのでは。
- ・電動車椅子の種類によっては300キロを超える機体もあるため、人の手で持ち上げることは困難であるし、昇降機の利用も重量的に不可な場合がある。
- ・別室でZOOM講演とし、講演後に生徒たちと触れ合う時間を設けてはどうか。
- ・対面の方が伝わりやすいと思う。低学年(1、2年生)は対面にし、他学年はZOOMで講演を聴くなど、ハイブリッド形式で行ってはどうか。
- ・車椅子ユーザーが階段を使えないという「バリア」を小学生たちに知ってもらう機会になるのではないか。
- ・様々な人にとっての「普通」や、違いを認め合う姿を見せることが人権教育になるのではないか。

### ■障がい福祉室 給付グループから「障がい者福祉年金について」

吹田市障がい者福祉年金及び難病患者等給付金の支給条例を廃止する条例の制定について、説明がある。

#### 【意見】

- ・「制度が整ってきた」「現物支給が進んでいる」というが、制度が整ってきたという判断はどこでしているのか。

- ・他市とは違い、吹田市独自の判断で福祉年金を続けていたのに、なぜいまこの段階で、吹田市独自の判断で福祉年金をやめるというのか。
- ・物価高騰が著しい現在、障がい者の生活はより苦しくなっている。日常的に使う物資、補装具や日常生活用具の維持費は決して減少するものではない。
- ・福祉年金の廃止は、「生活に充てていた資金が削られる」ということを理解してほしい。
- ・今回の福祉年金の廃止により、人材確保や、障がい福祉サービスの拡充に充てられるというが、サービスを受けていない人にはどうやって福祉年金分を還元するのか。
- ・福祉年金を廃止する際に、なににどう使われるのか、使われたのか、目的を知らせてもらえるのか。
- ・障がい福祉サービスは介護給付費によるものである。吹田市だけの問題なのか？国や府との関係もあるはず。福祉年金廃止とどの様に関連するのか。
- ・福祉年金受給者8000人に対し、福祉年金廃止にあたって意見を聞く機会はないのか。
- ・現金から現物に変えて、サービス拡充というが、どのように保証するのか。
- ・サービスの充実は当たり前。福祉年金の廃止により、所得が減ることをもっと理解してほしい。物価高騰もある。
- ・6月の当事者会定例会において福祉年金の用途について聞き取りがあった。福祉年金が廃止されるのであれば、どのように現物給付になるのか、相談も必要であったと思う。
- ・当事者からの反対の声は多かったはずだが、このように進んだことは違和感を感じるし、残念である。
- ・政策会議において福祉年金廃止が方針として決定したというが、政策会議に当事者はいるのか。いないのであれば、当事者の声はより届きにくい。「私たちのことを私たち抜きで決めないで」、障害者権利条約の内容を改めて認識してほしい。

## 2. 危機管理室における 出前講座「吹田市の防災について」の受講を受けて振り返り

### 【意見】

- ・勉強になった。
- ・避難所に避難する以外に、自宅待機も一つの方法なのだと知ることができた。
- ・自宅待機の際は日常物資や、医ケア物資を備蓄することが大切だと思った。
- ・出前講座の内容に「障がい」を配慮した内容が少なかったことが非常に残念だった。

以上